



浦添大公園

ニュースレター
うらしー
2023年8月号



公園からの お知らせ

利用者の皆様へ

来園する際には新型コロナウイルス感染症対策をお願いします。

公園の自然

浦添大公園には国内では珍しい翅裏が緑色のチョウが生息しています。このチョウ、ちょっと珍しい生態をしていて幼虫は基本的にクチナシの果実の中味を食べて育ちます。春先は果実がないので、蕾を食べます。

特集・夏のチョウ/イワカワシジミ (岩川小灰蝶) *Artipe eryx*

シジミチョウ科 奄美～八重山諸島、中国、ヒマラヤ、インドシナ、台湾に分布

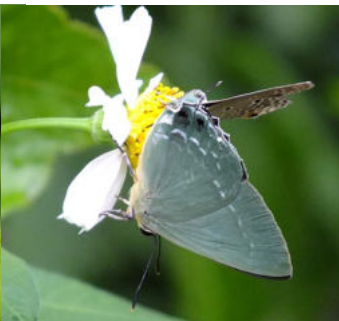
翅裏が緑色なのは日本に生息するチョウの中でも唯一で、森の中の葉の上にとまっていると、かなり接近しても気づかないことが多い。翅表は雄が輝く青紫色だが、滅多に開かない。雌は翅表が黒っぽく、地味。後翅に尾状突起があり、古い個体になるとなくなっていることがある。

成虫は3月～11月まで見られる。春に羽化した雌はクチナシの蕾に産卵し、幼虫は食べて育つ。その後は果実の先端の窪みを中心に産卵し、孵化した幼虫は中味を食べて育ち、果実内で蛹化する。そのため個体数が多くなるのは夏で晩秋には果実の減少と共に減る。低温期になると果実内で幼虫のまま過ごし、年明けに蛹化後羽化する。

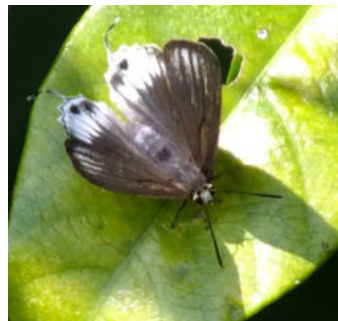
イワカワシジミの和名は研究者だった岩川友太郎氏の名前にちなんでつけられた。



雄は翅表が青紫色で美しい



サシグサに訪花



雌は翅表が地味



ツルソバに訪花



卵



幼虫は果実に穴を開けて中味を食べる



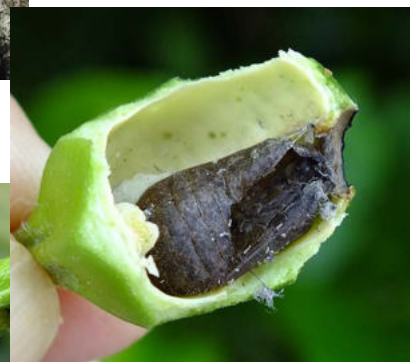
果実に食い入る終令幼虫



果実を食べて前蛹



果実の中で蛹化



果実の中の羽化殻



幼虫が開けた蕾の穴

蕾を開けたら終令幼虫がいた

浦添大公園ニュースレター うらしー 2023年8月号

浦添大公園管理事務所 〒901-2103 沖縄県浦添市仲間2-53

TEL (098) 873-0700 FAX (098) 873-0714

<https://urasoedaiipark-osi.jp>

指定管理者 沖縄文化スポーツイノベーション株式会社[タピックグループ]

編集・発行:比嘉正一